

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書き

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	佐賀県立太良高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の生徒の特性に対する理解は深まりつつあり、なお一層、生徒理解や特性理解を推し進め、特別支援教育の専門性向上に努めるとともに、生徒の進路実現のための取組を推進する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な学校行事が制限を受けたが、日頃からの健康観察などに努め、できる限り実施する方向で取り組んだ。その結果、体育祭、文化祭ともに実施でき、また、修学旅行は感染予防を徹底した上で無事実施した。 ・いじめの未然防止及び早期対応、生徒の健康増進を一層図ることにより、安全安心な学校生活の確保に努めていく。 ・通級指導成果発表会やSAGAコラボレーションスクール成果発表会など、学校の取り組みを外部にアピールする機会を得た。今後も継続していきたい。
2 学校教育目標	校訓「自律」の精神を培い、知・徳・体のバランスを高め、社会に貢献できる心身ともに健全な清々しい人間を育成する。

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①自分で考え責任を持つ主体力(=真の学力)を育成する。 ②生徒自身の創造性を育み、答えのない問題に向き合う心、「志」を高める。 ③地域に学び、地域から愛され、地域と共生する学校を実現する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				達成度(評価)	実施結果	学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組			評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒個々人の能力や特性に応じたきめ細やかな指導の充実	○授業研究週間の年間2回以上の実施 ○ICT機器等を活用した授業を心掛けた教員90%	・少人数指導、習熟度別指導、チームティーチング、リメディアル教育を通し、授業改善を推進する。 ・プリント教材の精選や、ICT機器の効果的な活用を進め、生徒の学習への動機づけを図る。					教務主任 各教科主任
	○多様な評価方法に対応できる指導方法の研究実践	○多様な学び(UDL)の研究に取り組んだと回答した教員90% ○生徒が「授業が分かり易い」と回答した割合が95%	・「主体的、対話的で深い学び」の実現のための教材開発・授業実践を推進する。 ・「できる授業」を推進し、相互研修のための授業研究会を年間2回以上実施する。					教務主任 ICT利活用推進リーダー
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育推進教師を中心とする道徳教育推進のための職員研修会1回以上実施 ○Q-U等を活用した生徒面談1回以上実施	・人権尊重のための講演会を実施する。 ・「情報」やHR活動を活用した情報セキュリティ、情報モラル教育を実施する。 ・客観的な検査指標を利用した生徒理解を推進する。 ・月1回以上の生徒支援委員会を通した生徒理解・特性理解や支援を推進する。 ・SCの活用を通じて、生徒の支援体制の充実を図る。					道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任 「情報」担当者 教育相談部主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○佐賀県いじめ防止基本方針の理解及び組織的な対応の実践が「よくできている」と回答した教職員90%以上	・学校生活アンケートを年2回以上実施する。 ・いじめ防止に関する保護者への啓蒙活動を充実させる。 ・いじめ防止に関する職員研修会を実施する。					生徒指導主事 教育相談部主任 各学年主任
●健康・体づくり	◎「志」を高める教育の推進	◎「体験学習」や「郷土学習」、佐賀に関する講演会等を通して、「佐賀に愛着を持たせたい」と回答した生徒80%以上 ◎体験的活動や部活動等により、自己肯定感が高まったと回答した生徒80%以上	・「体験学習」や「郷土学習」を計画的に実施する。「佐賀語」の活用や佐賀に関する講演会を通して佐賀に対する愛着心を育む機会を充実させる。 ・体験的活動や部活動等を充実させる。					教務主任 各学年主任 生徒会担当者
	●「望ましい生活習慣の形成」	●規則正しい生活習慣(起床、就寝等の時間)を身につけ、十分な睡眠時間の確保65%以上	・月2回の健康調査を通し、自己の体調管理を把握させる。 ・講師を招き、健康教育を充実させる。 ・保健だよりを通じて、望ましい生活習慣の啓蒙を図る。					保健主事 養護教諭 食育推進担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒70%以上 ●朝食をとって登校する生徒70%以上 ●食育の講演会を1回以上する	・朝食アンケートや外部講師を招き、健康教育を充実させる。 ・食に関する意識調査を実施する。					保健主事 養護教諭 食育推進担当者
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●時間外自発勤務1カ月40時間以内 ●年次休暇14日以上の取得	・定時退勤日を設定する。(毎週水曜・金曜) ・学校閉庁日を設定する。(8月8日～12日) ・部活動休業日を設定する。					管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目								主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を80%以上、教職員の割合90%以上 ★県外からの入学者数8人以上	・地域・企業等と協働した学校運営を行う。 ・魅力ある教育プログラムを実践する。 ・校内組織を立ち上げ、高校魅力化の取組を強化する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。					
○広報活動の充実	○魅力的な情報発信の継続 ○中学校、保護者、地域社会から信頼を得るための取組の推進	○学校通信「HOT通信」の月2回以上の発行 ○学校説明会、体験入学、オープンキャンパス参加者の前年度比10%増	・掲載内容を精選し、充実した内容で学校の魅力をPRできる学校通信を製作し発行する。 ・学校設定科目を中心とした特色ある体験授業を実施する。					企画研修部主任
○通級指導の実践	○自立活動の理解と実践 ○計画的な情報発信の実践	○自立活動の基礎知識に関する周知率90%以上 ○自立活動選択者の授業満足度90%以上	・月1回以上の通級指導委員会を通し、生徒に関する情報を共有する。 ・自立活動に関する教職員研修会を実施する。					通級指導(自立活動)担当者

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------